



Newspaper in Education

主権者教育とNIE

一般社団法人 日本新聞協会

NIE委員会 委員長 町田 智子

(朝日新聞社上席執行役員・CSR・教育事業・女性プロジェクト担当)

日本新聞協会



- 全国の新聞・通信・放送計129社で構成
- 主な活動
 - 新聞倫理の向上
 - 教育・交流、調査・研究
 - 広報・出版活動
 - 新聞博物館の運営
 - NIE (Newspaper in Education=教育に新聞を)の普及促進

説明内容



Newspaper in Education

1. NIEについて
2. 新聞が育む主権者に求められる
資質・能力等
3. 主権者教育に求められるポイント
4. さいごに

1. NIEについて



Newspaper in Education

NIEとは

- 1930年代に米国で始まり、世界80か国以上で実施。
日本では85年に提唱
- NIEの3要素 「新聞を活用する」「新聞をつくる」
「新聞の機能を知る」
- 社会性豊かな青少年の育成、民主主義社会の発展
等を目的に、教育界と新聞界が協力し展開

⇒ **NIE推進の目的は主権者教育と合致！**

新聞協会のNIE推進事業



Newspaper in Education

- 新聞提供事業
- 研修会等の開催（全国各地で毎夏に開催するNIE全国大会は1,000～2,000人規模の参加）
- ガイドブックの制作
- ウェブサイトによる情報提供
- いっしょに読もう！新聞コンクール（18年度は52,155編の応募）

新聞提供事業

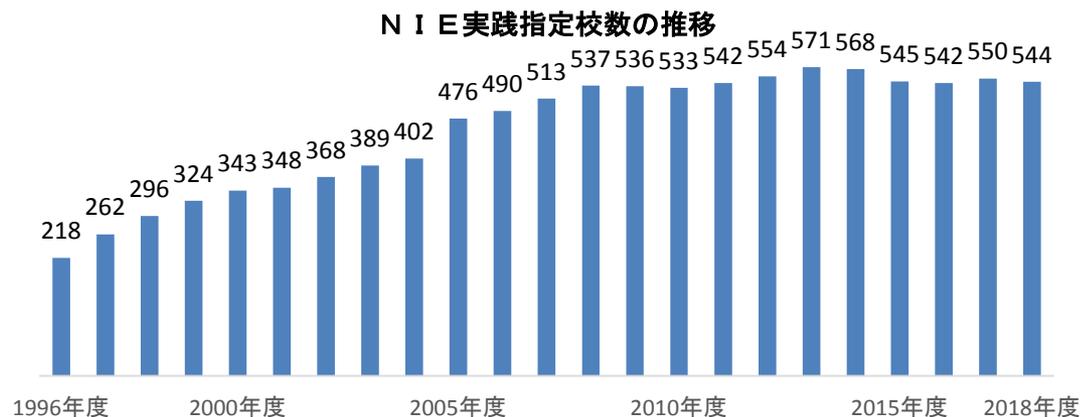


Newspaper in Education

- 1996年から実施。NIE実践指定校を認定し、一定期間、学習用の新聞購読料を補助（各地のNIE推進協議会に加盟する銘柄すべてを配達）
- 2018年は、小学校205校、中学校198校、高校118校など、計544校を実践指定校に認定。開始から、のべにして10,500校近い学校が同事業でNIEを実践



Newspaper in Education

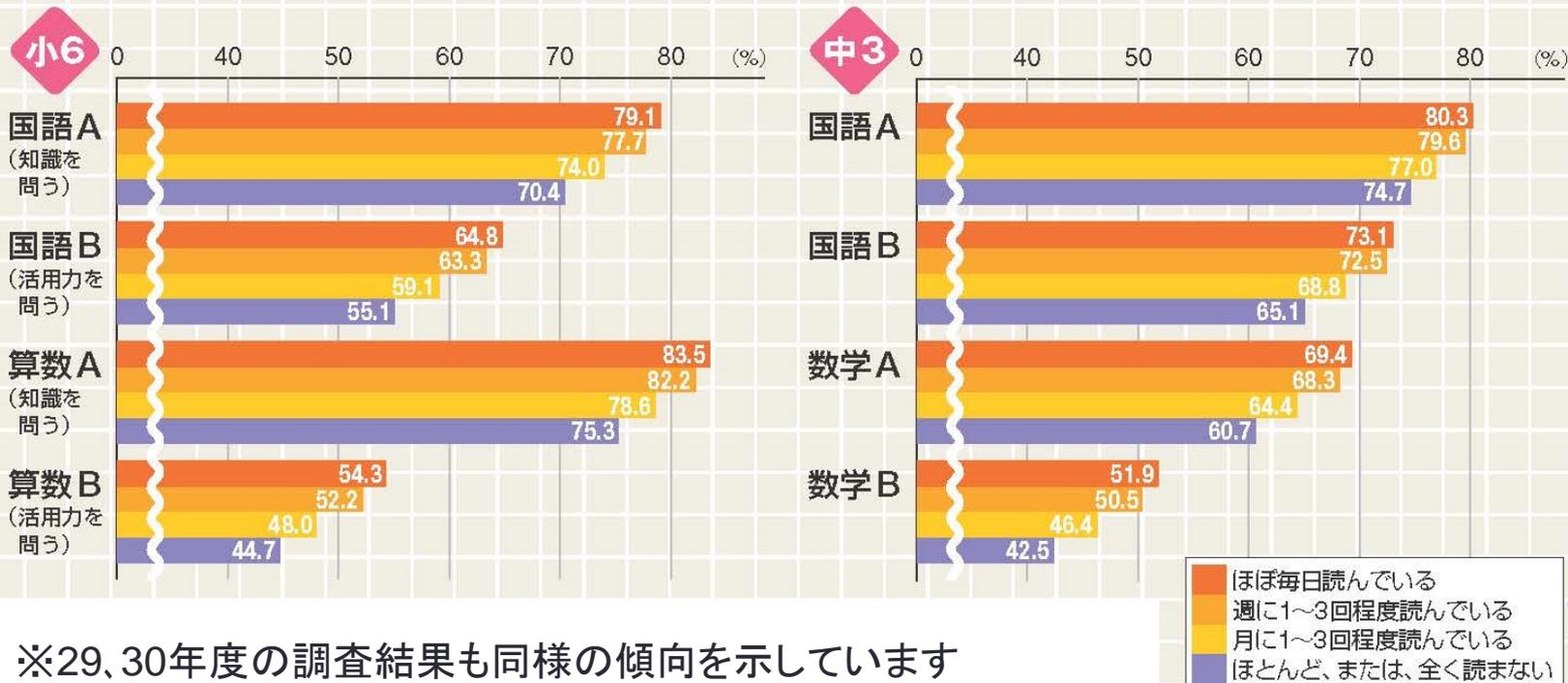


NIEの効果

新聞活用で学力もアップ!

文部科学省「平成28年度全国学力・学習状況調査」調査結果より

設問「新聞を読んでいますか」への回答と各教科の平均正答率(%)



2. 新聞が育む主権者に求められる 資質・能力等



Newspaper in Education

- ① 論理的思考力(とりわけ根拠をもって主張し他者を説得する力)
- ② 現実社会の諸課題について多面的・多角的に考察し、公正に判断する力
- ③ 現実社会の諸課題を見出し、協働的に追究し解決(合意形成・意思決定)する力
- ④ 公共的な事柄に自ら参画しようとする意欲や態度

副教材「私たちが拓(ひら)く日本の未来—有権者として求められる力を身に付けるために」より



Newspaper in Education

①論理的思考力

新聞は論理的思考力を育むには最適

- 見出し、リード、逆三角形の記事
- 取材に基づく事実と意見
- 連続型テキストと非連続型テキスト

⇒ 日常的な新聞閲読が効果的

②現実社会の課題を多面的・多角的に考察

新聞で現実社会を知る・考える意味

- 教科書に載っていない新しい話題
- 高い信頼性(複数の目、チェック体制)

⇒**学校教材としての価値**

- 幅広い背景知識の獲得
- 多様な意見を知る(オピニオン)
- 新聞読み比べで育む情報リテラシー

⇒**ネット社会だからこそ新聞も！**

- ③課題を見出し、協働的に追究し解決する
- ④社会に参画する意欲・態度を育む

自ら問いを見つけ、行動するためには？

- 学校での学びと社会・地域とのつながりがもたらす切実感
- より良い社会を創造しようとしている人との出会い
- 答えが一つではない課題から生まれる対話（自己との対話、他者との対話）

⇒ **学びに向かう力を育む新聞**

3. 主権者教育に求められるポイント



Newspaper in Education

- ① 義務教育段階からの主権者教育
- ② 連携（学校・社会・家庭）

①義務教育段階からの主権者教育



Newspaper in Education

校種を越え、教科横断的に

- 小学校低学年、幼児期からの積み重ね
- 各教科・領域の学習を主権者教育の視点で再構成

学校教育のその先は

- 大学・社会人への新聞教育
(NIB=Newspaper in Business)

②連携(学校・社会・家庭)



Newspaper in Education

主権者教育推進には連携が必要

- 教科の連携
- 学校図書館との連携(複数紙配備)
- 各校種の連携
- 外部機関との連携
- 地域との連携
- 家庭との連携

⇒ 新聞がつなぐ学校・社会・家庭

4. さいごに



Newspaper in Education

主権者教育推進のカギは日常化

- 幼児期から小中高校を通して、さらには大人になっても続く主権者教育
- 学校でも、家庭でも

主権者教育の軸に新聞を！

ご清聴ありがとうございました

日本新聞協会 NIE委員会 3月18日
nie@pressnet.or.jp